

# 開かれた校則づくりを求める請願

## 党議員団 賛成討論を行い賛成 自民、公明など反対し不採択に

宇治市議会 12 月定例会に、中学 3 年生の湯浅さんが生徒に開かれた校則づくり求め、「市立中学校の校則のあり方についての請願」を提出。1 月 21 日の審査に当たって、文教・福祉常任委員会が参考人として湯浅さんを招致し、請願についての思いをお聞きし、参考人質疑、市教育委員会へ質疑を行いました。

採決に当たって、党委員が請願の賛成討論を行い、うじ未来委員が反対討論を行いました。採決の結果は党委員のみ賛成で不採択に。

また、1 月 29 日の本会議では、党議員団、無会派の佐々木議員が賛成討論を行い、自民党議員が反対討論を行いました。中学生の請願は、宇治では初めてです。採決では党委員 6 名と佐々木議員のみが賛成し、自民、公明、うじ未来(1 名欠席)などの反対多数で不採択となりました。

### 【請願項目】

- ① さまざまな立場の生徒も交えて学校のルールメイキングが出来る土壤を作ること
- ② 自己決定・自己判断のもと自主的に行動できる雰囲気を宇治市全体でつくること
- ③ ルールをホームページに掲載し、ルール作成に至った経緯も含めて、いつでも確認できること

### 湯 浅 「あらゆる子どもたちの意見を聞いて、ルールづくりができるようになれば社会全体が生きやすくなる」、「私の学校だけ変わっても意味がない」

文教・福祉委員会で、湯浅さんは「あらゆる子どもたちの意見を聞いて、ルールづくりができるようになれば社会全体が生きやすくなる」と考えを述べました。

参考人質疑で、自民党委員が「文部科学省の生徒指導提要に校則の見直しは、生徒会で議論するとある」との質問に、参考人は「私の学校だけ変わっても意味がない」と請願を提出した思いを説明しました。

### 質疑の一部

【党委員】請願項目にある「さまざまな立場の生徒」とはどんな生徒を想定？

【湯浅さん】文科省の「生徒指導提要」に、校則の制定にあたっては「少数派の意見も尊重しつつ」と書かれています。「様々な立場の生徒」とは、この「少数派」を含む生徒のことです。例えば、不登校の子、生徒会に関わるのが苦手なタイプの子などです。

【党委員】湯浅さんが通う学校に生徒手帳はありますか？ホームページに校則は掲載されていますか？

【湯浅さん】生徒手帳はありません。2年前になくなつたそうです。ホームページに掲載されていません。

### 市教委への質疑から

【党委員】市内中学校で、校則のホームページ掲載状況は？

【市教委】中学校 10 校のうち、ホームページに掲載しているのは 2 校(1 月 21 日時点)

